

## 編集手帳

アジア医師連絡協議会（略称A M D A）をご存じだろうか。岡山市の医師菅波茂さんを代表とするこの青年医師グループが、ソマリアの難民救援に立ち上がった。◆カンボジアの難民救援の体験を持つ菅波さんの呼び掛けで、A M D Aが設立されたのは一九八四年だ。日本だけでなくアジア各国の医師ら六百人が参加、各地の難民や被災民救援の活動を続けてきた◆ソマリアでは約三百万人が戦火と飢餓に苦しみ、多くの難民がジブチなど隣接の国々に流出している。栄養失調や感染性下痢などで、やせ細った子どもたちが次々と死んでいく◆A M D Aは他の民間団体の協力も得て、ジブチの難民キャンプなどで医療活動を行う。すでに実地調査も終えて、ここ数日のうちに日本から医師や看護婦、助産婦ら数人が現地を集結する◆さらにフィ

リピンやインドの医師も含め、一年間で総勢三十五人の医療スタッフが赴く計画だ。「長期休暇が取れず勤め先を辞める人もいる。医師として目を背けているわけにはいかないからだ」と菅波さんは言う◆まことに頼もしい。カンボジアでの国連ボランティア中田厚仁さんの犠牲は衝撃的だったが、しかし彼ら若者たちを中心にした民間の国際貢献の輪の確かな広がりを見、誇らしくも思う。